

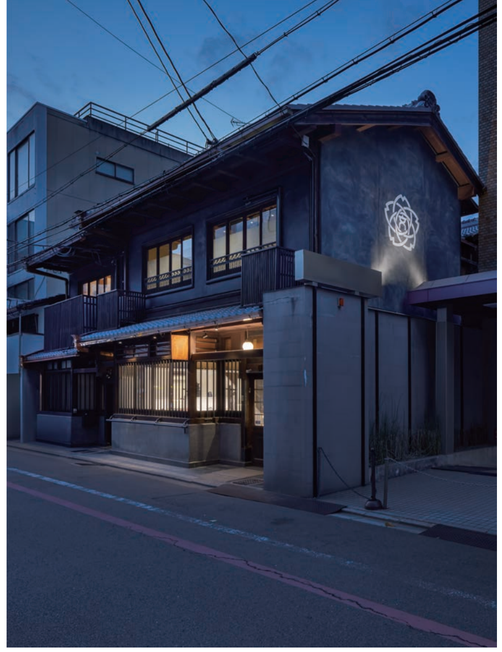





片山文三郎商店 京都本店改修プロジェクト

KYOTO WOOD AWARD 2026　建築竣工 リフォーム部門



● プロジェクト概要
- 竣工：1935 年（昭和 10 年）※改修竣工：2025 年
- 工事種別：リノベーション（増床・全面改修）
- 建築面積：186.47 ㎡
- 延床面積：288.39 ㎡
- 設計：GRIP&Co.（佐々木健・稲葉弘恵）
- 構造設計：冨家建築設計事務所
- ディレクション：プランクス（佐藤寧子）
- 施工：創業元治元年　小林工務店

京都府産認証材	ウッドマイレージ CO_2	森林吸収量
1.6357 m	27 kg-CO_2	58 kg-CO_2

1915年創業の片山文三郎商店。その本店として90年を重ねた京町家を、商いとともに次の100年へつなぐ改修である。
壁面、天井、欄間、建具など、創建時のしつらえを可能な限り残し、構造の歪みを修正した。京都府内産の杉・檜を、耐力壁や間仕切りなどの補強から、床、階段、和室、外部の造作まで適材適所に用いた。90年前の押入れと並ぶ檜の新設収納、既存引戸の意匠を写した和紙、基壇の御影石を再利用した棚など、新旧を連続させる納まりを積み重ねた。
新材を古色で馴染ませることなく、異なる時代の素材が時間とともに調和する意匠としている。京都で育った木を地域の技術で活かし、京町家と京絞りの文化を未来へ継承する、生きた木造建築の再生を目指した。